

令和7年度 金山小学校区通学路交通安全総点検 実施結果

日時: 令和7年7月9日(水)

番号	危険箇所	内容	対策
①	坂出市営金山墓地駐車場入り口付近から御大師池南東端付近	狹隘道路で補導および防護柵が未設置のため、児童が車両とすれ違う際に側溝や法面へ転落する危険性がある。歩車分離の確保や転落防止柵の設置、車両通行の制限措置等の対策が必要	ガードパイプが未設置の箇所にガードパイプの設置を検討する。
②	福江町三丁目付近の空き家群	管理不全の空き家が点在しており、老朽化による壁材・屋根材等の落下や崩落の危険性も確認されている。空き家に対する適切な措置（除却・補修・安全点検等）が必要	関係機関にて所有者へ指導を検討・確認する。
③	J R 高架下南側側道	鉄道高架下の側道と車道の交差点で見通しが悪く、児童の飛び出しと速度超過車両が危険。視認性向上や減速措置、歩車分離の明確化等の安全対策が必要	すぐ東に横断歩道があり、新たに横断歩道を設置はできない。通学路標識もあり、これ以上の対策は難しいため、学校側からすぐ東の横断歩道を通学路として使用するよう指導をお願いする。
④	J R 高架下多方向交差点	歩行者用押しボタン式信号機はあるが高架柱で見通しが悪く、待機中の児童と車両の接触が懸念される。歩車分離のための防護柵等の設置が必要	外側線の塗替えとナイトリバーの設置が可能か検討する。
⑤	横津町一丁目北東端交差点	信号機はあるが待機スペースが狭く児童と車両の接触が懸念される。歩車分離のための防護柵等の設置が必要	防護柵の設置は難しいが道路に貼るアルミ標識の張替を検討する。
⑥	通称「笠指の井戸の道」	道路線形が屈曲しているうえに塀が多いため見通しが悪く塀倒壊の危険がある。幹線道路からの回避経路として利用されており、通勤/通学時間帯に住宅地としては想定を超える交通量が発生している。歩行者と車両の動線が交錯し、安全確保に課題があるため、交通規制の導入やハンプ等による速度抑制措置、塀の安全対策が必要	各交差点へ青のカラー線・道路両端へ外側線もしくは路側に緑のカラー舗装を検討する。 地元要望で時間規制などは可能だが地元の人は必ず通るため地元の人に通行許可を取ってもらわなければいけなくなる。規制をかけたとしても車の通行量は0になるわけではないので安全に子どもたちを守ることができるわけではない。通学する児童の数と勘案し検討の余地がある。

